

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 保育課程等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	保育課程は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・保育課程を玄関に置き保護者の方がいつ見ていただいても良いようにしている。 ・中途採用社員も研修を行っている。 ・長期保育計画の作成時に使用している。 ・新入社員研修会で基本方針、保育理念等について研修を行っている。 ・マニュアルについていつでも確認、見直しができるようにしている。 ・ハンドブック等を使用し、マニュアルについて確認、見直しを行っている。			
<b>【課題・対策】</b> ・見学会や入園説明会等で保育指針、保育理念を提示していく。				
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担当が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担当が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・入園前、入園後と個人面談をし、家庭での過ごし方、入園後の家庭での過ごし方など保護者の方と園児の様子を全スタッフで共有している。 ・進級児と新入園児がいるクラスは、生活の流れや慣れが違うため、なるべく個々の子どもに沿った生活に配慮し、それぞれが不安にならないように寄り添っている。 ・複数担任の場合は、できるだけ毎回同じ職員が関わるようにし信頼関係を築いている。 ・園児の様子はクラス内だけでなく昼礼で報告し全スタッフが周知している。 ・コードモンの園内連絡ですべての職員に情報共有している。			
<b>【課題・対策】</b> ・園内会議時等にクラス報告としてクラスの状況や個々の状況をまとめ、全職員で把握、共有できるように対策した。 ・入園前面談ではできるだけクラス担任も同席するようにして、情報共有を確実にしていく。				
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・散歩時などで部屋を空ける際には窓を開け換気を心がけている。 ・成長に合わせた玩具を子どもたちの様子を見て入れ替えたり、興味を示すものなど積極的に取り入れるようにしている。 ・個々の成長に合わせた遊びを取り入れたり、ルールのある遊び(ドッチボールなど)も取り入れている。 ・こどもの遊びの流行に合わせてコーナー遊びの環境を変えている。 ・危険な場所や箇所にはガードをつけたり、年齢に応じて安全に遊べるように工夫している。 ・1時間に10から15分換気を必ず行っている。			
	<b>【課題・対策】</b> ・感染拡大防止対策をすることで季節によっては室内の温度が快適に過ごすことが出来ないように感じる。 ・玩具の量や種類が少なく遊びがマンネリ化することがあるため、クラス間で交換できる玩具や新しい玩具の購入がもっとあると良いと感じる。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
一人一人の子どもに個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0~2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・児童健康台帳等、必要書類をコドモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内会議時はクラスごとに現在の子ども様子を全員で共有、問題がある場合は共通理解を対応出来るようにしている。</li> <li>進級時には、次年度担任に一人ひとりの様子を細かく記録に残して伝達している。</li> <li>クラスの担任の間で子どもの苦手なもの、得意なものなど共有し、成長につなげるようにしている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度担任への引継ぎ時間があまりなく、各自で記録を読み返しているが、実際クラスに入り子ども達の様子を観ることが出来ると良いと感じるため、引継ぎ表の提出締め切り日を早め確認する期間を長くする。</li> </ul>			
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもわかるよう対応をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各関係機関のスタッフと定期的に連絡を取り合い子どもにとって安心、安全な環境作り、保育内容等、スタッフ全員で共有している。</li> <li>特に配慮を要する子どもは、定期的に臨床心理士に見てもらい相談して、個性や発達に合ったサポートを行うようにしている。</li> <li>保護者とも連絡を密にとり、日々子どもの成長や変化を把握している。また、面談が必要に感じた時はいつでも行うようにしている。</li> <li>アレルギー児への提供の際は給食スタッフ、施設長、担任で献立を見ながら確認。また前日の昼礼で翌日のメニュー確認とアレルギー確認を行っている。(トレー、台布巾も分けている)</li> <li>食事前には園児と一緒にメニューの読み上げを行うことでアレルギー児への提供間違いがないかの最終確認を行っている。</li> <li>家庭の些細な変化にも全員が共有できるよう会議などで確認している。</li> <li>保護者が子育てに不安や悩みを持っている様子を感じたら早めに声をかけストレスが軽減できるよう子育て相談を行っている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育児相談など保護者の方が相談が出来やすい雰囲気、環境作りが必要だと感じた。</li> <li>アレルギー時の持ち込み食を受け取った職員は、必ず担任にも口頭で伝えるよう改善した。</li> </ul>				
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の運営委員会で要望を伝えられる機会を設けている。</li> <li>気軽にご意見など言えるよう朝、夕の時間帯は保護者に声をかけ信頼関係が築けるよう配慮している。</li> <li>苦情、ご意見などは他の方を気にせず話せるよう事務所にお入りいただく個別に時間を作っている。</li> <li>苦情やトラブルは時間を置かず素早く対応する。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再発防止のため、場合によっては苦情を受けた際の過程や結果など、詳細な情報共有が必要だと感じた。</li> </ul>			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	B	自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。年齢や発達に応じたおもちゃをそろえているが、おもちゃによってはもう少し量や種類があると更に遊び込める環境ができる。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午後は園庭の脇で植栽を楽しんでいる。(朝顔、オクラ等)</li> <li>・雨天でない限りなるべく戸外で遊べるようにし、少しの時間や午後は園庭を有効に使ったりして存分に遊べる工夫をしている。</li> <li>・園庭でクラスが重なって混雑しないよう優先曜日を決め、それ以外は担任同士話し合いながら異年齢交流も行っている。</li> <li>・カブトムシ、カタツムリ、カイコ、アゲハチョウ当様な生き物を飼育している。</li> <li>・パーテーションを利用して遊び込める環境作りをしている。</li> <li>・自由遊びの際は園児が希望する遊びを遊び込めるように工夫をしている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境構成を考えるとときには目線を考えて遊びのコーナー、一人でじっくり遊びこめるように工夫が必要と感じている。</li> <li>・年齢や発達に応じたおもちゃをそろえているが、おもちゃによってはもう少し量や種類があると更に遊び込める環境ができると感じている。</li> <li>・リズムを全クラスで取り入れている。</li> </ul>				
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス毎に園児の発達に合わせた介助をしたり、楽しい雰囲気の中で食事が出来るよう工夫している。</li> <li>・子どもたちの成長や体調に合わせて午睡時間を調節している</li> <li>・子どものやる気を大切に、少し難しいことにも取り組めるようサポートし、成長を見守っている。</li> <li>・各クラスのトイレの時間をある程度、調節をし混雑を防いでいる。</li> <li>・年齢に合わせた食育を行っている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『物語メニュー』ではおやつを食べる前に絵本を読み、また保護者の方には掲示をして楽しんでもらえるような工夫が必要と感じた。</li> </ul>				
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	児童健康台帳に、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既往症、アレルギーなどは追加、変更が出た場合は園児重要事項一覧を修正し情報を共有している。</li> <li>・嘔吐処理の仕方を園内研修で年1回は行っている。</li> <li>・感染症が流行した際は保護者に周知して、注意喚起や対応の協力をしてもらっている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が流行した際に家庭での予防や嘔吐物の処理方法を保護者の方にもお知らせをする必要があると感じた。</li> <li>・感染症まん延予防研修に参加しスタッフ全員で共有していく必要があると感じた。</li> <li>・嘔吐処理をした後すぐに補充できるように、補充セットを常にいくつか用意しておく。</li> </ul>				

項目	番号	内容	評価	実施していること
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の清掃はもちろん常に園内の整理整頓を心がけている。</li> <li>清掃当番表を作成し、自分の番の時は忘れずやるようにしている。</li> <li>感染症まん延防止対策としてフタ付きのゴミ箱にしている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p>			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラを数ヶ所設置、事務所から常に確認出来るようになってきている。</li> <li>マニュアルにそって月に1度スタッフの動きの確認をしている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育や散歩時に動画を撮り、安全対策についての意見交換をおこなう必要があると感じた。</li> <li>けがをして、病院に連れていく際の持ち物や対応をわかりやすいところに掲示しておく。</li> </ul>			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っ決めていく。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権研修を年毎計画をもって行いセルフチェックをすることで意識を高めている。</li> <li>おむつ替え、トイレなどの際に、パーテーションを使用し外から見えないよう対策をしている。</li> <li>家庭環境(ご両親の出生地など)を考え、配慮し保育をしている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戸外活動中のおむつ替え等プライバシーを守りながら行うことをスタッフ全員で周知したいと思う。</li> <li>子どもたちの呼び方を適切に行う。</li> </ul>				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフのシフトを時々交代することで普段なかなかお会いできない保護者に園での様子を担任が直接伝えることが出来ている。</li> <li>通年、保育を見たいと思われている保護者の方にはあらかじめ見学の日、時間、参加または見学、を決めていただき保育を見ていただいている。</li> <li>幼児クラス園での様子で気になったことを連絡ツールで知らせている。</li> <li>保護者支援の一環で子育てポケットを毎月配信、掲示している。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方にも園を開放し利用して頂いているようにしたいと考えています。</li> <li>育児の悩みや、子どもとの遊び方の紹介などを保護者の方が気軽に参加できるイベントを企画したい。</li> </ul>			
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることが出来るようにしている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の育児中の方に気軽に参加していただけるようなイベントを考え月に一回程度開催した。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>立地条件等が理由でイベントを開催しても定員が埋まらないなどの課題がある。発信方法を工夫する工夫がある。</li> </ul>			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・小学校交流では学校探検をさせいもったり交流をしている。 ・近隣保育園との交流会では年間を通して数回行ったことで顔見知りになることができ、小学校接続へのひとつになった。  <b>【課題・対策】</b> ・夏祭りは近隣の方にも楽しんでいただけるように招待する。			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・実習生、ボランティアの方がこれた際にどのように受け入れるのか、どう過ごしてもらうのか研修をしている。			
	<b>【課題・対策】</b> ・実習生やボランティアの申し込みがなく、今年度は実績がなかった。引き続き受け入れの体制があることを周知していきたい。			
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・年間を通して園内研修を計画、実施している。また、外部研修に行った際には研修報告書を回覧し全員で共有している。 ・OJTの実施を年4回に分けて行っている。			
<b>【課題・対策】</b> ・研修報告の発表する機会を設ける。				
職員の議事術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・異年齢交流を行った際にはそのクラスで集まって振り返りを行い次の保育に繋げている。 ・毎日保育の振り返りを行っており日々の保育に活かしている。 ・園の自己評価では職員全員で話し合い、行っている。			
<b>【課題・対策】</b>				
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・園での初日に、個人情報の遵守、倫理について、日々の保育で守るべきものを研修、確認している。 ・ハンドブックを使って年1回以上研修を行っている。			
	<b>【課題・対策】</b>			
園目標や自己評価結果に対するの反省・課題(事業報告書へ)	園目標からも一人ひとりに寄り添う保育についてはそれぞれが心掛け、声を掛け合うことができた。成長の速度が違っていても個性の違いも尊重しあえるためには何が出来るかという事を職員間で話し合うことができた。また、子ども達の安全をどのように保障していくかについても、改めての見直しや、不安な部分を職員からヒアリングし、対策を考えていく事が出来た。一方で、同年齢であっても発達に差があるケースにおいて集団保育では対応しきれない事案も出てきた。安全を保障する保育という観点で大きな課題を残してしまった。こちらについては引き続き専門的知識を身に付けていく事に尽力していくと共に、自治体との相談・連携も視野にいれながら対応方法を進めていきたい。園目標に改めて命という表現を示すことによって、命の重さを常に意識して保育にあたることができた。これに関しては次年度以降も同じようにしていきたい。			